

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公表番号】特表2009-525730(P2009-525730A)

【公表日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-028

【出願番号】特願2008-553592(P2008-553592)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 4 0 B 40/06 (2006.01)

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 5/18 (2006.01)

A 6 1 P 5/14 (2006.01)

A 6 1 P 5/24 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 5/38 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/14 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 31/711 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

C 4 0 B 30/04 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 4 0 B 40/06

C 1 2 M 1/00 A

C 1 2 N 15/00 F

C 1 2 Q 1/68 A

C 0 7 K 14/47

C 1 2 N 5/00 B

C 0 7 K	16/18	
C 1 2 N	15/00	C
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	5/18	
A 6 1 P	5/14	
A 6 1 P	5/24	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	5/38	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	3/14	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	39/395	J
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	31/711	
G 0 1 N	37/00	1 0 2
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/15	Z
C 4 0 B	30/04	
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月25日(2009.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

骨リモデリングの治療のための医薬の製造における、配列番号 48 で示されるポリペプチド、または配列番号 1 によってコードされるポリペプチドの活性または発現を阻害することができる化合物の使用。

【請求項 2】

骨リモデリングが、骨粗しょう症、骨減少症、骨軟化症、副甲状腺機能亢進症、甲状腺機能亢進症、性腺機能低下症、甲状腺中毒症、全身性肥満細胞症、成人型低ホスファターゼ症、副腎皮質機能亢進症、骨形成不全症、パジェット病、クッシング病/症候群、チューマー症候群、ゴーシェ病、エーラーズ-ダンロス症候群、マルファン症候群、メンケス症候群、ファンコニー症候群、多発性骨髄腫、高カルシウム血症、低カルシウム血症、関節炎症、歯周病、くる病、繊維形成不全症骨、骨硬化症障害、およびマクロファージ媒介性炎症プロセスによって引き起こされる障害からなる群から選択される疾患を原因とする、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記化合物が、抗体またはその抗原結合断片である、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 4】

配列番号 4 8 で示されるポリペプチド、または配列番号 1 によってコードされるポリペプチドの機能を損なうことができる阻害化合物を同定するための方法であって、前記ポリペプチドまたは前記ポリペプチドを発現する細胞を候補化合物と接触させるステップ、および前記ポリペプチドの機能を測定し、それにより前記ポリペプチドの破骨細胞の分化を促進する能力の低下によって適切な阻害化合物が明確に同定されるステップを含む方法。

【請求項 5】

前記破骨細胞の分化が誘導される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記細胞が前記ポリペプチドを自然に発現しない、また自然に発現されるポリペプチド類似体の発現が抑制される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記候補化合物が、抗体またはその抗原結合断片である、請求項 4 から 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

配列番号 4 8 で示されるポリペプチド、配列番号 1 によってコードされるポリペプチド、または前記ポリペプチドの少なくとも 6 アミノ酸の断片と特異的に結合することができる、単離若しくは精製抗体またはその抗原結合断片。

【請求項 9】

配列番号 4 8 の破骨細胞の分化活性を阻害することができる、請求項 8 に記載の単離若しくは精製抗体またはその抗原結合断片。

【請求項 10】

配列番号 4 8 で示されるポリペプチド、配列番号 1 によってコードされるポリペプチド、または前記ポリペプチドの少なくとも 6 アミノ酸の断片と特異的に結合することができる抗体または抗原結合断片を産生するハイブリドーマ細胞。

【請求項 11】

前記抗体または抗原結合断片が、配列番号 4 8 の破骨細胞の分化活性を阻害することができる、請求項 10 に記載の細胞。

【請求項 12】

配列番号 4 8 で示されるポリペプチド、配列番号 1 によってコードされるポリペプチド、または前記ポリペプチドの少なくとも 6 アミノ酸の断片と特異的に結合することができる抗体または抗原結合断片、並びに担体を含む組成物。

【請求項 13】

前記抗体または抗原結合断片が、配列番号 4 8 の破骨細胞の分化活性を損なうことができる、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

破骨細胞の分化を調節するための、または破骨細胞の分化と関連する骨の減少を治療するための医薬の製造における、配列番号 4 8 で示される単離ポリペプチド、配列番号 1 によってコードされるポリペプチド、前記ポリペプチドの生物活性断片、または前記ポリペプチドの生物活性類似体の使用。

【請求項 15】

破骨細胞の分化を調節するための、または破骨細胞の分化と関連する骨の減少を治療するための医薬の製造における、配列番号 4 8 で示される単離ポリペプチド、または配列番号 1 によってコードされるポリペプチドの活性または発現を阻害することができる化合物の使用。

【請求項 16】

前記化合物が、抗体またはその抗原結合断片である、請求項 15 に記載の使用。

【請求項 17】

前記破骨細胞の分化が、骨粗しょう症、骨減少症、骨軟化症、副甲状腺機能亢進症、甲状腺機能亢進症、性腺機能低下症、甲状腺中毒症、全身性肥満細胞症、成人型低ホスファターゼ症、副腎皮質機能亢進症、骨形成不全症、バジェット病、クッシング病/症候群、チューマー症候群、ゴーシェ病、エーラース-ダンロス症候群、マルファン症候群、メンケス症候群、ファンコニー症候群、多発性骨髄腫、高カルシウム血症、低カルシウム血症、関節炎症、歯周病、くる病、繊維形成不全症骨、骨硬化症障害、およびマクロファージ媒介性炎症プロセスによって引き起こされる障害からなる群から選択される状態と関連する、請求項 15 に記載の使用。

【請求項 18】

配列番号 48 で示されるポリペプチド、または配列番号 1 によってコードされるポリペプチドの発現を損なうことができる阻害化合物を同定するための方法であって、前記ポリペプチドまたは前記ポリペプチドを発現する細胞を候補化合物と接触させるステップ、および前記ポリペプチドの発現を測定し、それにより前記ポリペプチドの発現の低下によって適切な阻害化合物が明確に同定されるステップを含む方法。

【請求項 19】

前記化合物が、抗体またはその抗原結合断片である、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

配列番号 48 で示される単離ポリペプチド、配列番号 1 によってコードされるポリペプチド、前記ポリペプチドの生物活性断片、前記ポリペプチドの生物活性類似体、並びに薬剤として許容される担体を含む、破骨細胞の分化を調節するための医薬組成物。

【請求項 21】

破骨細胞の分化と関連する骨の減少の治療における使用のための、または破骨細胞の分化を調節するための、配列番号 48 で示されるポリペプチド、または配列番号 1 によってコードされるポリペプチドの活性または発現を阻害することができる化合物。

【請求項 22】

前記化合物が、抗体またはその抗原結合断片である、請求項 21 に記載の化合物。

【請求項 23】

破骨細胞の分化と関連する骨の減少の治療における使用のための、配列番号 48 で示される単離ポリペプチド、配列番号 1 によってコードされるポリペプチド、前記ポリペプチドの生物活性断片、または前記ポリペプチドの生物活性類似体。